

季節のことば



冬



秋



夏



春



立りっとう冬とう 十一月七日頃 こよみのうえで冬が始まる
小しょうせつ雪せつ 十一月二十二日頃 寒さが深まりはじめる
大たいせつ雪せつ 十二月七日頃 寒気も増し寒さが激しくなる
冬とうじ至じ 十二月二十二日頃 一年の中で昼が最も短い
小しょうかん寒かん 一月五日頃 寒の入りともいわれる
大たいかん寒かん 一月二十日頃 一年で最も寒さがきびしい

立りっしゅう秋しゅう 八月八日頃 こよみのうえで秋が始まる
処しよ暑じよ 八月二十三日頃 すずしくなり始める
白はくろ露ろ 九月八日頃 だんだん秋らしくなる
秋しゅうぶん分ぶん 九月二十三日頃 昼と夜の長さがほぼ等しい
寒かんろ露ろ 十月八日頃 紅葉、落葉が見られる
霜そうこう降こう 十月二十三日頃 冬の訪れをかんじる

立りっか夏か 五月六日頃 こよみのうえで夏が始まる
小しょうまん満まん 五月二十一日頃 立夏から十五日目
芒ぼうしゅ種しゅ 六月六日頃 芒のある穀物の種をまく時期
夏げし至し 六月二十一日頃 一年の中で昼が最も長い
小しょうしよ暑しよ 七月七日頃 梅雨のおわりが近づき暑さが増す
大たいしよ暑しよ 七月二十三日頃 一年で最も暑さがきびしい

立りっしゅん春しゅん 二月四日頃 こよみのうえで春が始まる
雨うすい水すい 二月十九日頃 雪が雨に変わり早春の気配
啓けいちつ蟄じつ 三月六日頃 春もまもなく本番
春しゅんぶん分ぶん 三月二十一日頃 昼と夜の長さがほぼ等しい
清せいめい明めい 四月五日頃 だんだん温暖になり清々しい
穀こくう雨う 四月二十日頃 これを過ぎると夏が近づいてくる